

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

事 業 報 告 書

公益社団法人日本将棋連盟
会長 佐藤康光

2019年度 公益社団法人日本将棋連盟 事業報告書

〔自 2019年4月1日 ～ 至 2020年3月31日〕

【定款抜粋（公益社団法人日本将棋連盟）】

第4条 本連盟は、前条の目的を達成するため、下記の事業を行う。

- (1) 棋戦を主催し対局棋譜の提供及び棋戦の解説講評等を行い、将棋の普及啓発を推進する
- (2) 機関誌の定期発行・棋書の随時刊行により、将棋の普及発展を図る
- (3) 全国各地で講習会、大会を開催するとともに、支部等を設置して広域的に事業を展開する
- (4) 国際的な対局の開催や国際大会の支援を通じて、将棋文化を世界に発信する
- (5) セミナー・育成等の修練の場として将棋会館を設立し、一般への施設貸与にも供することにより広く棋道の発展を図る
- (6) 専門棋士を全国各地及び海外へ派遣し、将棋の拡大発展を図る
- (7) 各文化団体と連携を図り、日本固有の文化を継承発展させる活動に寄与する
- (8) 学校教育の場において将棋の普及啓発が図られるための活動を推進する
- (9) アマチュア段級位制度を通じて、将棋の普及啓発を図るため免状、認定状等を発行、交付する
- (10) その他連盟の目標を達成するため必要な事業

定款第4条（1）項に関する事業報告

1. 竜王戦（第32期 読売新聞社）

- （1）竜王保持者以外の現役棋士と女流棋士4名・奨励会三段1名・アマチュア5名の計174名が、1～6組に分かれてトーナメント戦（ランキング戦）を行った。
- （2）ランキング戦通過者11名による決勝トーナメントを行い、豊島将之名人が挑戦者となる。
- （3）広瀬章人竜王と挑戦者豊島将之との間で七番勝負を行い、4勝1敗で豊島将之が竜王を奪取した。

<10月～12月>

2. 名人戦（第77期 毎日新聞社・朝日新聞社）

- （1）A級・B級1組・B級2組・C級1組・C級2組の各クラスの順位戦に135名が参加し豊島将之二冠がA級の最高成績者となる。
- （2）佐藤天彦名人と挑戦者豊島将之との間で七番勝負を行い、4連勝で豊島将之が名人を奪取した。

<4月～6月>

3. 叡王戦（第5期 ドワンゴ）

- （1）第4期七番勝負は高見泰地叡王と永瀬拓矢七段により行なわれ、4連勝で永瀬拓矢が叡王を奪取した。
- （2）シード者以外の現役棋士と女流棋士1名、アマチュア1名の計158名がトーナメント形式による段位別予選を行った。
- （3）シード者8名、予選通過者16名の計24名による本戦トーナメントを行い、豊島将之竜王・名人が挑戦者となる。
- （4）永瀬拓矢叡王と挑戦者豊島将之による七番勝負を令和2年4月より行う。なお、予選特選局と本戦七番勝負はニコニコ動画において生中継を行う。

<4月～6月>

4. 王位戦（第60期 新聞三社連合<北海道・中日・西日本・神戸・東京・徳島各新聞>）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計160名が参加して、トーナメント形式による予選を行った。
- （2）シード者4名、予選通過者8名の計12名を紅白2組に分けてそれぞれ総当たりのリーグ戦を行い、木村一基九段が最高成績者となる。
- （3）豊島王位と挑戦者木村一基との間で七番勝負を行い、4勝3敗で木村一基が王位を奪取した。

<7月～9月>

5. 王座戦（第67期 日本経済新聞社）

- （1）本戦シード者以外の現役棋士と女流棋士4名の計156名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
- （2）本戦シード者10名と予選通過者6名の計16名による本戦トーナメント戦を行い、永瀬拓矢叡王が挑戦者となる。
- （3）斎藤慎太郎王座と挑戦者永瀬拓矢との間で五番勝負を行い、3連勝で永瀬拓矢が王座を奪取した。

<9月～10月>

6. 棋王戦（第45期 共同通信社）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士1名・アマチュア1名の計141名が、トーナメント形式による予選を行った。
- （2）シード者25名と予選通過者8名の計33名による本戦トーナメントを行い、本田奎五段

が挑戦者となる。

- (3) 渡辺明棋王と挑戦者本田奎との間で五番勝負を行い、3勝1敗で渡辺明が棋王を防衛した。
＜2月～3月＞

7. 大阪王将杯王将戦 (第69期 スポーツニッポン新聞社・毎日新聞社、特別協賛：大阪王将、協賛：株式会社囲碁将棋チャンネル)

- (1) シード者以外の現役棋士(159名)が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
(2) シード者4名、予選通過者3名の計7名で総当たりのリーグ戦を行い、広瀬章人八段が最高成績者となる。
(3) 渡辺明王将と挑戦者広瀬章人との間で七番勝負を行い、4勝3敗で渡辺明が王将を防衛した。
＜1月～3月＞

8. ヒューリック杯棋聖戦 (第90期 産経新聞社、特別協賛：ヒューリック株式会社)

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計156名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
(2) シード者8名、予選通過者8名の計16名による決勝トーナメントを行い、渡辺明二冠が挑戦者となる。
(3) 豊島将之棋聖と挑戦者渡辺明との間で五番勝負を行い、3勝1敗で渡辺明が棋聖を奪取した。
＜6月～7月＞

9. 朝日杯将棋オープン戦 (第13回 朝日新聞社)

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士3名、アマチュア10名の計170名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
(2) シード者8名と予選通過者8名の計16名による本戦トーナメントを行い、決勝は千田翔太七段が永瀬拓矢二冠を破って優勝した。なお、準決勝・決勝は公開対局をし、AbemaTVで動画中継を行った。
＜2月＞

10. 銀河戦 (第27期 株式会社囲碁将棋チャンネル)

- (1) シード者以外の現役棋士(127名)が、予選を行った。
(2) シード者36名と予選通過者、女流2名、アマチュア4名の計96名をA～Hの8組に分け、勝ち抜き戦を行った。
(3) 各組の最終勝ち上がり者と最多連勝者の計16名により、決勝トーナメントを行い、決勝は、豊島将之名人が渡辺明二冠を破って優勝した。
＜決勝放映は9月＞

11. NHK杯将棋トーナメント (第69回 日本放送協会)

- (1) シード者以外の現役棋士計133名が、トーナメント形式による予選を行った。
(2) シード者32名(女流棋士1名を含む)と予選通過者18名による計50名で本戦トーナメントを行い、決勝は深浦康市九段が稲葉陽八段を破って優勝した。
＜決勝放映は3月＞

12. 将棋日本シリーズ (第40回 各地方新聞社、協賛：日本たばこ産業株式会社)

- (1) 選抜棋士12名でトーナメントを行い、決勝は渡辺明 JT 杯覇者が広瀬章人竜王を破って優勝した。全11対局を全国の都市で行い、無料で一般に公開した。併せてこども大会も全会場で行った。
＜決勝は11月＞

13. 新人王戦（第50期 しんぶん赤旗）
- (1) 26歳以下（10月1日現在）・六段以下（タイトル戦経験者は除く）の若手棋士と女流棋士4名・選抜奨励会三段15名・アマチュア1名の計40名によるトーナメントを行った。
 - (2) 決勝三番勝負は、高野智史四段が増田康宏六段を2勝1敗で破って優勝した。
<10月>
14. 加古川清流戦（第9期 加古川市、公益財団法人加古川市ウェルネス協会）
- (1) 四段の棋士17名と選抜奨励会三段18名・女流棋士2名・アマチュア3名でトーナメント戦を行った。
 - (2) 決勝三番勝負は、池永天志四段が服部慎一郎三段を2勝1敗で破って優勝した。
決勝は加古川市内で行った。
<決勝は10月>
15. YAMADAチャレンジ杯（第4回 ヤマダ電機）
- (1) 五段以下でプロ入り15年以下の棋士とアマチュア選抜1名の計35名によるトーナメントを行った。
 - (2) 決勝は門倉啓太五段が井出隼平四段を破って優勝した。なお、準決勝・決勝はヤマダ電機「LABI1 高崎」にて公開対局を行った。
16. ヒューリック杯清麗戦（第1期 ヒューリック株式会社）
- (1) 2019年1月開幕。女流棋士62名による予選を行った。6勝通過、2敗失格システム。
 - (2) 第1期のみ、予選勝ち抜き者4名が本戦トーナメントを行った。
 - (3) 決勝五番勝負は、予選を勝ち抜いた里見香奈女流四冠と甲斐智美女流五段で行い、3連勝で里見香奈が初代清麗となった。
17. マイナビ女子オープン（第13期 株式会社マイナビ）
- (1) シード者以外の現役女流棋士とチャレンジマッチを勝ち上がった女流棋士とアマチュア7名の計63名が、トーナメント形式の予選を行った。
 - (2) シード者4名と予選通過者12名の計16名で本戦トーナメントを行い、加藤桃子女流三段が挑戦者となる。
 - (3) 西山朋佳女王と挑戦者加藤桃子との間で令和2年4月より五番勝負を行う。
<4～6月>
18. リコー杯女流王座戦（第9期 株式会社リコー、特別協力：日本経済新聞社）
- (1) シード者以外の女流棋士60名、予選を勝ち上がったアマチュア6名と海外招待者1名が参加して、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
 - (2) シード者と予選通過者の計16名による本戦トーナメントを行い、西山朋佳女王が挑戦者となる。
 - (3) 里見香奈女流王座と西山朋佳との間で五番勝負を行い、3勝1敗で西山朋佳が女流王座を奪取した。
<10～12月>
19. 岡田美術館杯女流名人戦（第46期 報知新聞社、
協賛：株式会社ユニバーサルエンターテインメント）
- (1) シード者以外の現役女流棋士（56名）が、トーナメント形式の予選を行った。
 - (2) シード者6名、予選通過者4名の計10名で総当りのリーグを行い、谷口由紀女流二段が最高成績者となる。
 - (3) 里見香奈女流名人と挑戦者谷口由紀との間で五番勝負を行い、3連勝で里見香奈が女流名人を防衛した。
<1月～2月>

20. 女流王位戦（第30期 新聞三社連合）

＜北海道・中日・西日本・神戸・東京・徳島各新聞＞

- (1) シード者以外の現役女流棋士（52名）が、トーナメント形式の予選を行った。
- (2) シード者6名、予選通過者6名の計12名で紅白2組に分けてそれぞれ総当たりのリーグ戦を行い、渡部愛女流二段が最高成績者となる。
- (3) 渡部愛女流王位と挑戦者里見香奈との間で五番勝負を行い、3勝1敗で里見香奈が女流王位を奪取した。

＜4月～6月＞

21. 霧島酒造杯女流王将戦（第41期 株式会社囲碁将棋チャンネル、協賛：霧島酒造株式会社）

- (1) シード者以外の現役女流棋士とアマチュア5名の計64名が、トーナメント形式の予選を行った。
- (2) シード者4名と予選通過者12名による本戦トーナメントを行い、西山朋佳女王が挑戦者となる。
- (3) 里見香奈女流王将と挑戦者西山朋佳との間で三番勝負を行い、2勝1敗で西山朋佳が女流王将を奪取した。

＜10月＞

22. 大山名人杯倉敷藤花戦（第27期 倉敷市・倉敷市文化振興財団・山陽新聞社）

- (1) 倉敷藤花以外の現役女流棋士（64名）とアマチュア2名が、トーナメントを行い、伊藤沙恵女流三段が挑戦者となる。
- (2) 里見香奈倉敷藤花と挑戦者伊藤沙恵との間で三番勝負を行い、2勝1敗で里見香奈が倉敷藤花を防衛した。なお、三番勝負第2局は一般に公開して行った。

＜11月＞

23. YAMADA女流チャレンジ杯（第5回 ヤマダ電機）

- (1) 女流選抜30名とアマチュア選抜1名の計31名によるトーナメントを行った。
- (2) 準決勝・決勝はヤマダ電機「LABI1 高崎」にて公開対局を行い、決勝は山根ことみ女流初段が伊奈川愛菓女流初段を破って優勝した。

＜11月＞

定款 第4条（2）項に関する事業報告・・・収1 物品販売、出版、付帯収益事業

1. 月刊「将棋世界」

A5判、242頁、付録1冊、定価 745円＋税、毎月3日発売

販売：株式会社マイナビ出版

2. 「平成31年版将棋年鑑」

B5判、648頁、定価（本体4,600円＋税）、7月下旬発売、直販品

3. 書籍

イ、「将棋戦型別名局集8 居飛車穴熊名局集」日浦市郎 著

A5判、408頁、定価（本体2,800円＋税）

ロ、「中原VS谷川全局集」中原誠 谷川浩司 著

A5判、432頁、定価（本体2,800円＋税）

ハ、「平成将棋名局百番」書籍編集部 編

A5判、416頁、定価（本体4,160円＋税）

ニ、「藤井聡太全局集 平成30年度版」書籍編集部 編

- A 5判、304頁、定価（本体2, 460円+税）
 ホ、「藤井聡太の鬼手」書籍編集部 編
 四六判、208頁、定価（本体1, 540円+税）
 ヘ、「谷川浩司の将棋 振り飛車編」谷川浩司 著
 A 5判、336頁、定価（本体2, 480円+税）
 ト、「竜王戦全集第1期～第32期」書籍編集部 編
 A 5判、456頁、定価（本体3, 240円+税）
 チ、「棋譜並べ上達法」佐藤慎一 著
 四六判、216頁、定価（本体1, 540円+税）
 リ、「将棋が強くなる明解5手詰」書籍編集部 編
 新書判、240頁、定価（本体1, 240円+税）
 ヌ、「将棋世界 Special 将棋戦法辞典100+」将棋世界編集部 編
 A 5判、224頁、定価（本体1, 600円+税）
 ル、「三間飛車戦記 2008～2019」小倉久史、山本博志 著
 A 5判、264頁、定価（本体2, 240円+税）
 オ、「名人への軌跡」豊島将之 著
 A 5判、288頁、定価（本体2, 460円+税）
 ワ、「初段の力が付く次の一手」将棋世界 編
 新書判、256頁、定価（本体1, 340円+税）
 カ、「升田幸三 振り飛車の神髓」石川陽生 著
 A 5判、448頁、定価（本体2, 800円+税）

以上、将棋普及を目的とした出版物を刊行した

定款 第4条（3）項、（4）項、（6）項に関する普及事業報告

・・・1. 事業（3）普及啓発事業 5）、7）

1. 2019年度社会福祉活動支援報告①

支援対象大会名	第32回全国障害者将棋大会		
実施時期	2019年11月3日（日）		
会 場	東京都北区「北とぴあ」		
出場資格	障害をお持ちの方で将棋が指せること		
定 員	128名	内訳	1部（四段以上か希望する方） 16名 2部（初～三段） 48名 3部（級位者） 64名
参加費	1,000円		
対局方式	各部とも16名ブロックを基本とし、各4回戦方式で総平手戦		
審判長	所司和晴七段		
表彰	1部1・2位、2・3部のブロックごとに1位に記念盾と賞状を授与		
主催	全国障害者将棋大会（代表：栢沼明）		
後援	東京都社会福祉協議会、日本将棋道場連合会、日本将棋連盟他		
支援内容	賞品（扇子）寄贈・後援名義使用		

2. 2019年度社会福祉活動支援報告②

支援対象大会名 第43回全国盲人将棋大会

実施時期	2019年11月9日(土)・10日(日)
会場	兵庫県加古川市「加古川まちづくりセンター」
出場資格	日本盲人会連合組織団体の会員またはその他の視覚障害者
審判長	淡路仁茂九段
参加費	2,000円
表彰	A級(有段者)、B級(級位以下)それぞれの優勝者に厚生労働大臣杯、A級優勝者にNHK会長賞、各級3位までの入賞者に日本将棋連盟会長賞・日盲連会長賞が授与される。また、A級優勝者には四段、B級優勝者には初段が日本将棋連盟より授与される。
主催	社会福祉法人日本盲人会連合
後援	厚生労働省・日本放送協会・日本将棋連盟他
支援内容	免状寄贈・後援名義使用・審判長／運営要員人選補佐

3. 日本文化紹介事業「海外棋士派遣事業」

派遣先 スロバキア・ブラチスラバ

日程 2019年8月15日～8月18日

派遣者 中座真七段

内容 ヨーロッパ最大の大会である「ヨーロッパ将棋選手権」において競技審判、指導対局、大盤解説を務めた。

4. 日中友好文化交流事業「海外棋士派遣事業」

事業名 第4回日中友好青少年将棋大会

日程 2019年8月7日(水)

会場 東京都新宿区「日本青年館ホテル」

派遣者 鈴木大介九段

内容 中国、日本を対象地域として、小学生から大学生までの青少年の将棋大会を開催。あわせて派遣棋士による指導対局、講習などを行った。

主催 日本将棋連盟

共催 北京将棋倶楽部、日本将棋連盟上海支部他

協賛 株式会社杏林堂薬局

定款 第4条(3)項、(6)項、(8)項に関する普及開発事業報告

・・・1. 事業(3)普及啓発事業(3)、5)

以下の各種事業を行った

- | | | |
|-----------------------------|-----------|---------------------------------------|
| 1. 親子ふれあい将棋大会 | 7月13日 | 更生保護会館 |
| 2. 将棋指導員審査 | 4月7日 | 6地区
(愛知・北海道・大阪・東京・福岡・仙台) |
| 3. 名人戦第4局全国棋士派遣 | 5月17日 | 47地区における大盤解説会 |
| 4. 第51期女流アマ名人戦 | 10月13日 | レオス・キャピタルワークス本社 |
| 5. 文部科学大臣杯
第15回小中学校将棋団体戦 | 7月23日 | サンケイプラザ
産経新聞社・文部科学省・文化庁・NHK・JKA |
| | | JKAより2019年度公益事業振興補助事業補助金として4,060,950円 |
| 6. 第45回「将棋の日」 | 11月23・24日 | 甲府市総合市民会館(山梨県甲府市) |
| 7. 学校へ将棋指導者派遣事業 | 4月～3月 | |

8. オリンピック・パラリンピック教育推進校に対する将棋を用いた「日本の伝統的な礼儀・作法やおもてなしの学習」授業の提案活動。

定款 第4条（3）項、（6）項、（10）項に関する事業報告

・・・1. 事業（3）普及啓発事業 8）、10）

1. 将棋道場事業

将棋会館（東京）、関西将棋会館（大阪）、新宿将棋センターにて将棋道場を開設した。
入場者同士の対局による棋力認定や、専門棋士による指導対局を行った。

2. 北海道将棋道場事業

北海道将棋会館（札幌市）にて将棋道場を開設した。

北海道支部連合会へ運営を依頼し、入場者同士の対局による棋力認定や、専門棋士による指導対局を行った。

定款 第4条（4）項に関する国際大会支援事業報告

・・・1. 事業（3）普及啓発事業 5）

以下を行った

1. 国際将棋フォーラム

2020年10月開催に向けた準備

2. 東京オリンピック開催に合わせて国際普及を目的とした事業の開発

定款 第4条（5）項に関する事業報告・・・1. 事業（3）普及啓発事業 8）、10）

1. 東京将棋会館 教室講習 以下の各種教室・イベントを行った。

- ◇遊々将棋塾 第1・3 土曜日 月2回 中級者から有段者、中学生以上
- ◇子供将棋スクール 毎 週 日曜日 月4回 初心者から1級まで、小学生
- ◇レディースセミナー 第2・4 土曜日 月2回 初心者から有段者、女性
- ◇ビギナーズセミナー 毎 週 月・火・木曜日（祝日除く） 入門・初心者
- ◇ガチンコ子供将棋教室 毎 週 土曜日 月4回 初心者から1級まで、小学生
- ◇パワーアップ将棋セミナー 毎 月 第1・3日曜日 小学生～大学生
- ◇師範棋士・女流棋士スーパーサロン 毎 日（土日祝日、年末年始を除く）
- ◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会を実施
- ◇子供大会等、各種将棋企画の実施
- ◇年末年始 将棋大会の実施

2. 関西将棋会館 教室講習 以下の各種教室・イベントを行った。

- ◇ビギナーズセミナー 毎週 土曜日 月4回 一般向け、初級・中級クラス
- ◇日曜こども将棋スクール 毎週 日曜日 月4回 小・中学生向け、級位者
- ◇土曜こども将棋スクール 毎週 土曜日 月4回 小・中学生向け、初級・中級・
上級クラス
- ◇レディースセミナー 毎週 月曜日 月4回 女性(一般)向け、初級・中級クラス
- ◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会の実施
- ◇夏休み（7～8月）子供大会の実施

◇年未年始 将棋大会の実施

◇プロ棋士・女流棋士に指導対局（土・日・祝）

3. 東・西将棋会館利用事業

◇棋具備品の貸し出し 随時行った。

定款 第4条（6）項、（10）項に関する事業報告

・・・1. 事業（3）普及啓発事業 2）、8）

1. 新宿将棋センター 以下の各種教室・イベントを行った。

- ◇レディースセミナー 毎月第1・3土曜日 女性
- ◇木曜スクール 毎月第2・4木曜日 50歳以上
- ◇金曜ナイタースクール 毎月第2・4金曜日 初心者から有段者
- ◇女流育成将棋スクール 毎月第1・3土曜日 3級以上の女性
- ◇新宿・土曜講習会 毎月第2・4土曜日 有段者前後

2. 子供将棋スクール・分校 以下の将棋教室を行った。

- ◇子供将棋スクール町田校 毎週日曜日（第5を除く）小学生以下
- ◇子供将棋スクール新宿校 毎週日曜日（第5を除く）小学生以下
- ◇子供将棋スクール川口校 毎月第2、4日曜日 小学生以下
- ◇子供将棋スクール横浜校 毎月第2、4日曜日 小学生以下

3. 子供将棋スクール・提携校 以下の将棋教室を行った。

- ◇栄光キッズカレッジ自由が丘校 毎週 土曜日 月4回 小学生

4. ヤマダこども将棋教室

- ・全国（札幌～那覇）ヤマダ電機40店舗で開催した。
- ・専門棋士および将棋指導員、支部役員・会員、指導員補佐を講師として派遣した。
対象は中学生以下、初心～5級

定款 第4条（10）項に関する事業報告・・・収1 物品販売、出版、付帯収益事業

1. 将棋関連商品事業報告

- ◇ 将棋盤：高級品・普及品を販売した。
- ◇ 将棋駒：高級品・普及品を販売した。
- ◇ 扇子：名人戦記念 4月発売 / 名人位 8月発売 / 竜王戦記念 11月発売
竜王位 3月発売、以上の扇子を販売した。
タイトル保持者・棋士・女流棋士 以上の扇子を販売した。
- ◇ カレンダー・将棋手帳 11月から販売した。
- ◇ 将棋関連書籍・雑誌を販売した。
- ◇ 他グッズ（置き駒、将棋タオル、大盤セットなど）を販売した。
- ◇ 新商品を開発した。

定款 第4条（9）項に関する事業報告

1. 将棋免状認定、以下を行った。

- ◇専門棋士（プロ棋士）指導による棋力認定

- ◇棋道師範・棋道指導員・将棋指導員による棋力認定
- ◇専門誌紙上検定による棋力認定
- ◇新聞・雑誌の紙上検定による棋力認定
- ◇インターネットによる棋力認定
- ◇テレビによる棋力認定
- ◇記念認定
- ◇将棋会館道場認定
- ◇新宿将棋センター認定
- ◇支部会員認定

定款 第4条（6）（7）（10）項に関する事業報告

・・・1. 事業（3）普及啓発事業 9）、11）

1. 広報活動

- ◇各報道関係者・出版機関に将棋文化の宣伝を行なった。
- ◇会員・棋戦・イベント等の将棋に関する情報を発信した。
- ◇全国各地の公共機関・施設や企業より依頼された将棋イベントや講演等の協力を行なった。
- ◇テレビ・ラジオ番組・映画・WEB（将棋関係）へ資料を提供し、専門棋士の出演や協力、制作の協力をした。
- ◇各マスメディアからの取材等の協力をした。
- ◇出版社の書籍編集協力やゲームの商品化に協力した。
- ◇将棋対局における記録など資料整備を行なった。
- ◇ホームページ上により将棋の情報を一般の方々に公開した。
- ◇対局を写真撮影してマスコミに貸出を行なった。

2. 電子メディア事業

- ◇日本将棋連盟公式サイト <http://www.shogi.or.jp/>にて将棋情報の情報を配信し、国内・海外への普及振興に努めた。
- ◇モバイルでの棋戦中継事業を実施した。
- ◇インターネット対局サイト「将棋倶楽部24」を運営した。
- ◇インターネット対局サイト「将棋倶楽部24」の事業を売却した。
- ◇インターネット動画「ニコニコ生放送」、「AbemaTV」に対しての動画配信、動画解説会の協力を行なった。
- ◇社内ネットワークの再整備を行なった。
- ◇2020年に向けてPC、デジタル機器の資産管理と整備を行なった。
- ◇対局記録の自動化システムの構築を行なった。

3. 普及推進事業

- ◇将棋文化振興支援団体（地方自治体代表者）を集めての交流会を行なった。
- ◇将棋に関する正しい知識の浸透とそれを有するファンの適切な評価を目的として将棋検定を行なった。

4. ライセンス事業

- ◇日本将棋連盟の公認、推薦、推奨などを付与した。

理事会・社員総会等に関する事項

	開催年月日	議事事項
常務会	2019年4月8日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年4月18日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年4月26日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年5月9日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年5月17日	業務の管理、運営に関して
理事会	2019年5月21日	議案 第1号 平成30年度決算書類承認の件 第2号 平成30年度事業報告承認の件 第3号 第70回通常総会開催の件 第4号 第70回通常総会の議長、副議長選出の件 第5号 役員予定者承認の件 第6号 対局規定変更承認の件 第7号 会館建設準備委員会答申の件 報告
常務会	2019年5月23日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年5月30日	業務の管理、運営に関して
定例報告会（東京）	2019年5月30日	正会員への報告及び質疑応答
定例報告会（関西）	2019年5月31日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2019年6月6日	業務の管理、運営に関して
第70回通常総会	2019年6月7日	議案 第1号議案 平成30年度事業報告承認の件 第2号議案 平成30年度決算書類承認の件 第3号議案 対局規定変更承認の件 第4号議案 順位戦制度変更承認の件 第5号議案 東京・将棋会館に関する承認の件
常務会	2019年6月19日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年6月26日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年7月5日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年7月12日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年7月19日	業務の管理、運営に関して
定例報告会（東京）	2019年7月24日	正会員への報告及び質疑応答
定例報告会（関西）	2019年7月26日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2019年8月1日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年8月8日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年8月15日	業務の管理、運営に関して

常務会	2019年8月22日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年9月4日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年9月10日	業務の管理、運営に関して
理事会	2019年9月10日	議案 第1号 会員の処分に関する件 第2号 東京・将棋会館プロジェクト委員会設置の件 第3号 フリークラス棋士制度要綱改定の件 第4号 対局規定改定の件 第5号 北海道研修会設置の件 報告
常務会	2019年9月18日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年9月24日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (東西合同)	2019年9月24日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2019年10月1日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年10月17日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年10月25日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年10月31日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年11月7日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年11月18日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年11月28日	業務の管理、運営に関して
定例報告会(東京)	2019年11月28日	正会員への報告及び質疑応答
定例報告会(関西)	2019年11月29日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2019年12月9日	業務の管理、運営に関して
理事会	2019年12月10日	議案 第1号 令和元年度中間決算承認の件 第2号 旧北海道将棋会館建て替えも視野に入れて検討する件 第3号 事業譲渡承認の件 報告
常務会	2019年12月16日	業務の管理、運営に関して
常務会	2019年12月23日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年1月8日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年1月17日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年1月23日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年1月30日	業務の管理、運営に関して

定例報告会（東京）	2020年1月30日	正会員への報告及び質疑応答
定例報告会（関西）	2020年1月30日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2020年2月6日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年2月13日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年2月18日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年2月28日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年3月5日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年3月13日	業務の管理、運営に関して
理事会	2020年3月13日	議案 第1号 令和2年度事業計画書、収支予算書、 資金調達及び設備投資の見込みを記載 した書類 承認の件 第2号 新宿将棋センター存続、もしくは廃止 承認の件 第3号 関西将棋会館建設に関する承認の件 第4号 功労金規定変更承認の件 第5号 対局規定改正の件 報告
常務会	2020年3月18日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年3月27日	業務の管理、運営に関して
定例報告会（東京）	2020年3月27日	正会員への報告及び質疑応答
定例報告会（関西）	2020年3月27日	正会員への報告及び質疑応答